



2026年6月2日
東日本旅客鉄道株式会社

JR 上野駅『文化創造 HUB』の舞台が 6 月に完成！

- JR 東日本グループは、グループ経営ビジョン「勇翔 2034」に掲げるライフスタイル・トランスフォーメーション(LX)実現に向け、JR 上野駅を『文化創造 HUB』として位置付け、「文化」を通じて、「ひと」と「まち」・「地域」をつなぎ、新たな価値を創造しています。
- JR 東日本最大級のデジタルサイネージ「UENO CANVAS」が誕生し、『文化創造 HUB』の舞台が 2026 年 6 月 16 日(火)に完成します。完成を記念したデザインで、リニューアルした上野駅をジャック装飾し、駅を起点とした共創型まちづくりの幕開けを彩ります。
- 2026 年に作者ビアトリクス・ポターの生誕 160 周年を迎える『ピーターラビット™』とタイアップし、上野駅構内では描き下ろしによるパンダとのコラボ装飾や PLATFORM13 でのスペシャル映像投映を実施します。また、上野の“杜”やまちと連携し、2026 年 6 月 8 日(月)から 6 月 28 日(日)まで、『ピーターラビット™エキタグスタンプラリー』を開催し、駅を起点に上野のまちの多彩な魅力が詰まった文化回遊廊巡りを促進します。
- 世代や国籍、障がいの垣根を超えてすべての人が文化を楽しめることを目指し、文化体験施策を充実させます。

1. 『文化創造 HUB』として、駅を起点に人とまち・地域をつなぐ共創型まちづくりを推進！

JR 東日本グループは、思いやりとワクワクにあふれる社会を目指し、上野駅を『文化創造 HUB』と位置づけ、文化を通じて、「ひと」と「まち」・「地域」をつなぎ、新たな価値を創造します。生まれ変わったグラウンドコンコースでは、“つなげる（HUB）”機能を強化し、駅を起点に共創型まちづくりを推進します。

(1) ゼロカーボンメディア「UENO CANVAS」の誕生！

中央改札目の前のイマーシブなメディア空間として、多様な表現を実現する、約 75 m²の大画面高精細 LED ビジョン「UENO CANVAS」が 2026 年 6 月 16 日(火)に誕生します。文化・情報を発信し、来街者に上野のまちの魅力を知っていただくきっかけづくりとして、横長の画面を生かした、まちの施設や歴史の紹介、芸術文化を表現する環境演出コンテンツを放映します。

東京都のキャップ&トレード制度等を活用し、CO₂ 排出量（年間 280t -CO₂）を実質ゼロにした「ゼロカーボンメディア」として運用します。

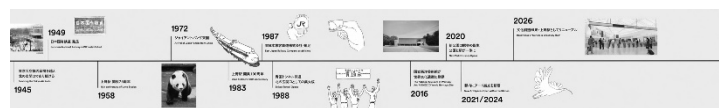
※グラウンドコンコース周辺は今後も駅改良工事を予定しています



UENO CANVAS



上野のまちの施設を紹介する動画



上野の歴史を紹介する動画



アート文化を表現する動画

(2) 約 20 年ぶりに生まれ変わる、グランドコンコース

1932 年からあるグランドコンコースの大屋根空間が、約 2 年の工事を経て中央改札前の空間が広がり、より開放的で、アートや文化を引き立てる「キャンパス」のような空間に生まれ変わります。Polar と SPREAD によるクリエイティブディレクションのもと、『文化創造 HUB』をテーマに上野駅構内を装飾し、共創型まちづくりの幕開けを彩ります。キービジュアルは、猪熊弦一郎の壁画《自由》(1951 年作) から採取した色彩を SPREAD が現代的にアレンジした「UENO FREEDOM COLOR」によって構成。駅構内の内装デザインやサイン、映像に展開し、上野駅の歴史と現代までの時間軸を色彩でつなぎます。



装飾展開



UENO FREEDOM COLOR



『文化創造 HUB』ロゴマーク

期間	装飾内容	上野駅構内の主な場所
6/2~6/21	ポスター	改札内 (M2階コンコース、改札内ロングエスカレーター) 他
6/8~7/5	シート装飾	ポレリア広場、改札内 (新幹線改札前、M2階階段・M2階コンコース、3階入谷口コンコース) 他
6/16~	動画	UENO CANVAS (時報、環境演出コンテンツ)、上野広小路口ビジョン (環境演出コンテンツ)

クリエイティブディレクション



Polar Inc. 林 貴則

2015年に東京で設立。ブランディングや広告を軸に、企画・コンセプト立案、ビジュアル、空間、オウンドメディアなどのクリエイティブを横断的に手がける。編集的手法によって、さまざまな要素をリサーチし、社会や地域の文脈に根ざした本質的な価値や普遍的なシステムを創造することを目標としている。アイデンティティやビジョンなど、0→1のフェーズから関わることで、ブランド体験全体を一貫して設計することを得意としている。

クリエイティブディレクション/デザイン



SPREAD 山田春奈・小林弘和

山田春奈と小林弘和によるクリエイティブ・ユニット。長い時間軸で環境を捉えるランドスケープデザインの思考と鮮烈な印象を視覚に伝えるグラフィックデザインの手法を融合させ、あらゆる記憶を取り込み「SPREAD=広げる」クリエイティブを行う。「国立新美術館」10周年記念ビジュアル、工場見学イベント「燕三条 工場の祭典」、国際園芸博覧会「日本政府苑」シンボルマーク等を手掛けている。Red Dot Design Award グランプリ、Dezeen Awards Graphic design of the year など受賞歴多数。

2. 駅から「文化体験の創造・魅力発信」と「まちの回遊」

(1) 上野駅と作者生誕 160 周年を迎える『ピーターラビット™』がコラボレーション

上野公園・上野動物園・不忍池などに囲まれ、豊かな自然と多彩な生き物と共に歩んできた上野駅と、長年にわたって世界各国で愛され、2026 年に作者ビアトリクス・ポター生誕 160 周年を迎える『ピーターラビット™』とがコラボレーションします。



本企画のために描き下ろしたピーターラビット™とパンダのコラボレーション装飾を上野駅構内各所で展開するほか、PLATFORM13 ではオリジナルのスペシャル映像を放映します。作者ビアトリクス・ポター™のスケッチや絵手紙、様々なキャラクターのアートワーク、アニメーションなどを約 100mの大映像空間で紹介します。

放映時間：2026 年 6 月 8 日(月)～6 月 28 日(日)

放映時間：8:00～21:30

※下記時間は放映を停止しております

月曜日(8:00～11:30)・木曜日(17:00～19:00)

土曜日(8:00～10:00)・日曜日(16:00～19:00)

※輸送障害時など、都合により 13 番線ホームへの立ち入りを規制する場合は事前の告知なく放映を停止する場合がございます



PLATFORM13

(2) 上野の文化回遊廊を巡る『ピーターラビット™ エキタグスタンプラリー』

上野の“杜”とまちを巡って、かわいらしいピーターラビット™の仲間たちのデジタルスタンプを集める『ピーターラビット™エキタグスタンプラリー』を開催します。上野駅を起点に、アートと歴史、自然、下町・伝統芸能などを特色としたウォーカブルな文化回遊廊を形成します。駅とまちが一体となった文化体験を通じて、駅とまちが持続的に成長できる共創型まちづくりを推進するとともに、上野の魅力ある拠点をスタンプスポットとして設定し、観光流動の創出と交流人口拡大を図ります。

実施期間：2026年6月8日(月)～6月28日(日)

参考 WEB サイト：<https://media.jreast.co.jp/articles/6203>

※エキタグは株式会社ジェイアール東日本企画の登録商標です



ピーターラビット エキタグスタンプラリー

BEATRIX POTTER™ © Frederick Warne & Co.,2026

3. すべての人が文化でつながる LX

上野駅では、世代や国籍を超えて、障害の有無にかかわらず、多様なニーズに寄り添い、すべての人が文化を楽しみ、文化でつながる取り組みを推進します。

(1) 東京藝術大学と連携したアート体験の創出

上野駅に点在する著名なアーティストの芸術作品に二次元コード付きのキャプションサインを設け、改めて紹介することで、駅でのアート作品との偶発的な出会いを促進します。また、キャプションサインの二次元コードを読み込むと、アート作品の解説や、上野駅構内の他のアート作品を知ることができる WEB サイトを立ち上げます。WEB サイトは 5 か国語（日・英・韓・簡・繁）に対応することで、さまざまな国や文化的背景をもつ方々に開かれたアート体験を提供します。

WEB サイト：<https://www.jreast.co.jp/tokyomovinground/exhibition/beyond-ueno/>

また、代表的な 5 作品について、東京藝術大学の先生による解説動画を 2026 年 6 月 16 日(火)からご覧いただけます。多様な専門視点で作品の魅力伝えることで、文化体験の深化を図ります。



キャプションサイン



設置のイメージ

作家	作品	解説動画 担当教員[所属]
猪熊 弦一郎	自由	林 卓行 [東京藝術大学 美術学部芸術学科 教授]
平山 郁夫	昭和六十年春 ふる里・日本の華	黒川 廣子 [東京藝術大学 大学美術館 教授 / 大学美術館長]
朝倉 文夫	翼	布施 英利 [東京藝術大学 美術学部芸術学科 教授]
朝倉 文夫	三相	村上 敬 [東京藝術大学 大学美術館 准教授]
王 学仲	上野四季繁栄図	柳田 さやか [島根大学 学術研究院教育学系 准教授 / 東京藝術大学 美術学部芸術学科 非常勤講師]

東京藝術大学 解説担当教員一覧

今後、作品理解をより深めていただける体験提供を目的に、東京藝術大学の先生による駅構内アート解説ツアーを実施予定です。



JR上野駅を「文化創造HUB」へ!

WEB サイト

(2) 対話型芸術体験会の開催

JR 上野駅構内にあるパブリックアート作品を視覚に障害のある方とともに巡るプログラムを開催します。互いの感じ方や視点を尊重し合いながら、アートを通じた新たな発見やつながりが生まれる時間を創出します。

【イベント概要】

名 称：対話型芸術体験～「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」のアテンドと JR 上野駅のパブリックアートを巡る～

開催日時：2026年6月22日(月) 10:00～12:00

集合場所：JR 上野駅公園改札外

運営サポート：東京ビエンナーレ

企画監修：ダイアログ・イン・ザ・ダーク

参加費：1000円

参加申し込み：<https://event.jreast.co.jp/activity/detail/a002/a002-kando011>

※JRE MALL チケットサイトにて詳細をご確認のうえお申し込みください



ツアーの様子

(3) 文化創造エコシステムのライブペインティングイベント実施

若手アーティストと応援・支援者とのマッチングを通じて、「ひと」とアートをつなぐ共創の循環をつくり、上野駅の文化的な価値の持続可能な高まりを上野のまちに循環することを目的として、5月末までクラウドファンディングを実施しました。

応援・支援を支えに、画家・真田将太郎氏によるライブペインティングと、真田氏が東京藝術大学出身メンバーと結成したアート系クリエイター集団「アートゥーン！」(<https://m.youtube.com/@ArtooneCH>)

による動画制作を実施します。現代の『自由』とは何かのテーマのもと制作過程からコンセプト・想いを共有し進めてまいりました。新しいアートプロジェクトの誕生の瞬間を、ぜひお楽しみください。

【イベント概要】

ライブペインティング：【日時】2026年6月22,23,24,26,30日 10:00～16:00

※時間帯によりペイントを行っていない場合があります

【場所】上野駅改札内3階イベントスペース「とまり木」

動画投映：【日時】2026年8月18日(火)～9月30日(水) (予定)

【場所】上野駅改札内13番線「PLATFORM13」

参考 WEB サイト：<https://camp-fire.jp/projects/926309/view> (募集終了)



ライブペインティングの様子

(4) 上野エリアの地域文化を体感

上野駅では、地域の事業者や文化施設等と連携し、まち歩きなど、地域の魅力を感じられるツアーの展開を検討しています。第1弾として、雑誌「散歩の達人」とコラボレーションし、池之端仲町・湯島エリアにて、夕暮れから宵にかけての“知られざる上野”の魅力を感じていただく「ナイトツアー」を開催します。

【ツアー概要】

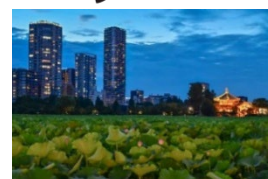
日程：2026年7月以降 (予定)

内容(仮)：「散歩の達人編集部と歩く上野夕暮れ散歩
～池之端仲町・湯島エリアの文化的魅力を体験！～」

※詳細は今後、JRE MALL チケットサイトにてお知らせします

企画協力：株式会社交通新聞社、合同会社ぼたん、しのばず和めぐりの会

昔女歩の達人



ツアーイメージ

さらに、今後、JR East Travel Service Center の閉店後に、夕方以降の時間限定の商材や体験との出会いを創出する「ナイトマルシェ」を不定期で開催予定です。

(5) デジタルでつなげる「UENO TIME」を実証実験中！

駅施設と店舗の混雑を一体的に情報発信することで、過ごし方の選択肢を広げ、忙しい駅時間を、まちや上野駅のおすすめスポット・アートスポットを回遊する心豊かな体験時間に変えることを目指し、2026年3月から、上野駅とアトレ上野で混雑状況の情報発信と、WEBサイト「UENO TIME」の実証実験を開始しました。

サインージでグランドコンコース周辺の混雑状況がわかるとともに、「UENO TIME」ではWEB上で個人の使える時間やカテゴリを選択して並び替える機能を備えています。

上野駅では、2026年度まで実証実験として、今後もUIや使用感に関する調査と改善を重ねます。JR 東日本アプリとも連携し、すべてのお客さまに心豊かな時間を提供することにチャレンジしています。

UENOTIME : https://pages.vacan.com/ueno-time?utm_source=press&utm_medium=web&utm_campaign=uenotime



サインージ UI

※本プレスに掲載の写真・画像は全てイメージです。

